

建設キャリアアップシステムの全員登録と運用の行程



CCUS

地域全体で一斉導入

建設キャリアアップシステム (CCUS) を地域全体で一斉導入。群馬県建設業協会沼田支部は、支部会員21社すべてがCCUSに事業者登録することを理事会で機関決定した。実現に向け、支部会員全員で運営する利根沼田建設事業協同組合が、登録料とカードリーダー設置費用などを拠出する。現時点で登録が完了しているのは5社だけだが、組合が直接支援することで費用面の課題を一気にクリア。どの元請企業の下で仕事をして就業履歴を蓄積できるなど、CCUSの「主役」たる技能者にとって重要な素地となる、地域へへのみでの運用体制の構築を目指す。

— 関連5面

群馬建協 沼田支部

みられる。

全会員の事業者登録は、11月17日に開いた支部理事会で決めた。会員企業の事業者登録料とカードリーダー設置費用を事業協同組合が拠出するほか、下請企業が負担を含め、運用時にかかる利用料の一部も補助する。既に登録済みの企業についても、さかのぼって費用を支払う。

今回の試みは、利根沼田地域全体で就労環境を改善し、技術者・技能者の入職促進と定着率向上を図るのが目的。職人の処遇改善や明確なキャリアパスの提示、施工能力の見える化なども大きな「高く評価。どこにつなげる。事業者登録完了後は、各社が国や県のCCUS活用モデル工事などに積極的にチャレンジし、運用実績を積み重ねる。「この間の新型コロナウイルスへの対応では、マイ「学校への広報にも感銘をナスの影響を押しとどめる受けた。今回の件を含め、ことに終始してきたが、働き方改革の実現を含め、そろそろプラスに動く前向きなことをやりたいと考えている。時間をかけながらで

沼田支部長、同組合理事長も務める群馬建協の青柳剛会長は「地域からのボトムアップでCCUSの普及・定着につなげたい。いまだにいろいろな意見はあるようだが、まずはスタートラインに立ち、実際にやってみてから課題やメリットを整理し、議論をしていこうということだ。利根沼田地域の取り組みを「模型」として見せることで、ほかの地域にも広がれば」と狙いを語る。一定の地域全体で域内の元請各社が歩調を合わせ、一斉にCCUS登録するのは全国初の事例と

事業協同組合が費用拠出

も、地域での処遇改善や雇用拡大につなげていきたい」と青柳会長。今回の先進事例を起爆剤に、地域ぐるみで新3K (給料・休日・希望) の実現へと歩む。取り組みに当たっては、協会本部と支部の事務局が一体となって、登録・運営に関する情報提供などを実施。支部が運用状況の継続的な把握や改善点の整理などを行う。さらに、高校や専門学校、大学などに対し、地域全体でCCUSの活用に取り組んでいる状況を積極的に広報する。

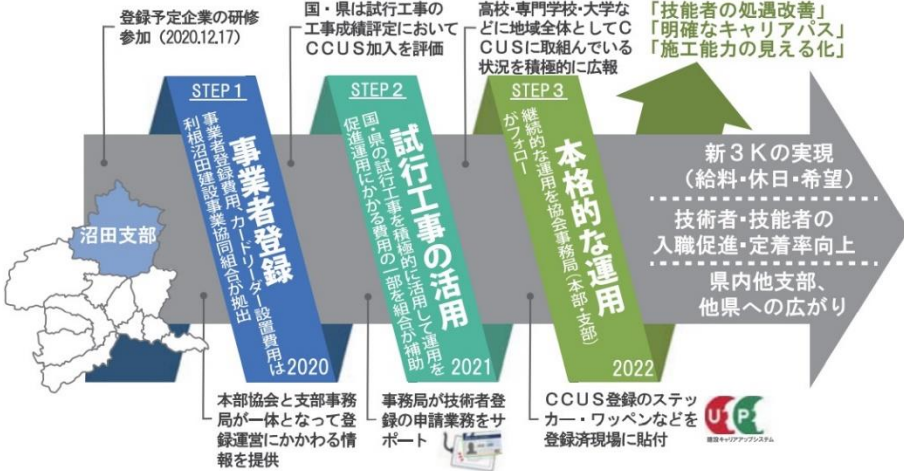
国土交通省の青木由行不動産・建設経済局長は「地域全体での取り組みはCCUSの普及に大変意義がある。地域の専門工事業社や技能者へのメッセージとしても大きい」と高く評価。さらに「普及が進めば行政や発注者としても、モデル工事など実施できる施策の幅が広がり、官民でのスパイラルアップ効果も期待できる」と見据える。また、

青柳会長「まずスタートラインに立って」



本部協会と支部事務局が一体となって登録運営にかかわる

群馬建協の取り組みのイメージ



CCUS 群馬建協の沼田支部会員 全21社が事業者登録へ

群馬県建設業協会(会長 青柳剛沼田土建社長)は14日、沼田支部の会員企業

21社すべてが建設キャリアアップシステム(CCUS)に事業者登録すると発表し

た。処遇や就業環境の改善、キャリアパスの明確化、施工能力の見える化に生かし、技術者・技能者の入職促進と定着率の向上に役立てる。CCUSを活用する国や県の試行工事に積極的に取り組む。地域のもっともった登録は全国初とみられる。人材を確保する地域主体の取り組みで、ほかの地域の登録を促す。

す。協会内には前向きな検討に入った支部があるという。沼田支部(支部長・青柳会長)の会員が運営する利根沼田建設事業協同組合が登録を直接支援し、登録費用とカードリーダーの設置費用を拠出。試行工事の費用の一部も補助する。建協本部と支部事務局が登録・運営の情報を提供し、運用を継続するための改善措置も講じる。

取り組みは高校、専門学校、大学にアピールする。「処遇改善のスタートラインに地域全体で立つ」(青柳会長)方針だ。

CCUSを運用する建設業振興基金の佐々木基理事長は、地域のまとまった登録の動きに謝意を示し、「モデルとなって全国でCCUSを活用していただきたい」と期待する。国土交通省の青木由行不動産・建設経済局長は「大きな意義がある」とした上で「新3Kを目指して全体で取り組んでいる建設業界の新たな物語を作る大きな流れ、材料になる」とコメントした。

群建協沼田支部がCCUS

全国に先駆け体制構築

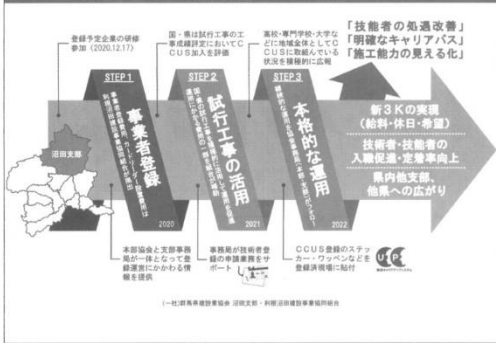
支部会員全員登録へ

組合側で登録料など拠出

群馬県建設業協会沼田支部(青柳剛会長兼支部長)は建設キャリアアップシステム(CCUS)について、地域全体での登録に向けた体制を全国に先駆け構築した。年度内に支部の会員企業全21社で事業者登録を目指し、登録料やカードリーダーの設置費用を利根沼田建設事業協同組合が全額拠出するなどの取り組みを展開する。地域全体で取り組むことで就業環境を向上、人材の確保・育成を推進する。

進・定着率の向上や県内の他地域だけでなく他県への波及を目指す。青柳会長は実施にあたり「大企業で取り組みが始まったとしても地方の建設業まではなかなかスムーズに広がらない。まずは一つの地域という小さなモデルでスタートラインに立つて行うことで、そのハードルを取り除くのがねらい。全国に先駆けての取り組みであり、各社にはその期待を持ってほしい」と説明。

地域全体で就業環境の向上を！ ～建設キャリアアップシステムの全員登録と運用の行程～



沼田支部におけるCCUSの展開イメージ

登録に向けた組合の支援策は登録・設置費用の全額拠出だけでなく、技術者登録を試行工事の運営に際して費用補助も継続して実施する。さらに、協本部と支部事務局が一体となった登録運営に関する情報提供、国・県の試行工事に対する積極的な活用を促す。高校・専門学校・大学などに地域全体でCCUSの導入へ取り組んでいる状況から処遇改善が必要とされており、この取組を通じて、人材確保つなげるなどの取り組みと連携して、各社で課題整理

登録に向けた組合の支援策は登録・設置費用の全額拠出だけでなく、技術者登録を試行工事の運営に際して費用補助も継続して実施する。さらに、協本部と支部事務局が一体となった登録運営に関する情報提供、国・県の試行工事に対する積極的な活用を促す。高校・専門学校・大学などに地域全体でCCUSの導入へ取り組んでいる状況から処遇改善が必要とされており、この取組を通じて、人材確保つなげるなどの取り組みと連携して、各社で課題整理

また、「引続き」といって「マイナスイメージがあるかもしれないが、処遇改善に体格的な活用を促す。高まる入職促進への期待感も大きい。利根沼田地区という厳しい自然環境だからこそ処遇改善が必要とされており、この取組を通じて、人材確保つなげるなどの取り組みと連携して、各社で課題整理

試行内容は、カードリーダーの設置費用を利根沼田建設事業協同組合が負担し、初期費用を軽減。また、工事成績評価で達成状況に応じて最大1・5ポイントの加算を行うとしている。